

横川エコの会 堆肥づくり



2月20日（日）学校の北、屋板運動場の南西にある「みんなでつくる有機堆肥場」で横川エコの会の皆様が堆肥づくりを行っていました。

横川エコの会は、横川地区のリサイクル推進活動を中心となって行っている団体です。

本校でも、5月頃のグリーンカーテンの植え付けや生育の支援、花のプランターのプレゼントなど、豊かな環境づくりに大変お世話になっています。



堆肥づくりは、東日本大震災の後に始められたとのこと。

堆肥の材料は、横川地区の農場からいただく牛糞、米ぬか、そして、本校の給食で使われなかった野菜の不要部分や残菜です。



毎年、2月の1週間分の給食用野菜の不要部分をエコの会の方々が集め、それを堆肥の材料としてくれます。



この日は、5名のエコの会の方々が、材料を混ぜ合わせ、最後に水をかけ、ビニールシートをかぶせました。この後は、湯気が出るほど熱をもつのだそうです。



この日以降、何度かかき混ぜる作業を行い、5月には良い堆肥となり、学校や地域に配付されるそうです。例年、地区市民センターで行われる「ふれあい祭り」でも、多くの方に配付されるとのこと。

私たちの身近なところで継続的に取り組まれている、まさにSDGs、地球環境を考えた素晴らしい活動が行われていること、また、取り組んでいる方々が私たちの地域にいらっしゃることを 未来を担う子どもたちに伝えていきたいと思います。



今年も、横川中央小学校がゴーヤグリーンカーテンやきれいな花でいっぱいになるのが楽しみです。